

生きている白山に学ぶ水と緑と防災

白山砂防通信



さぼ
今年は酉年！

2017.冬号

VOL.36



赤岩第2号砂防堰堤完成

昭和9年の手取川大水害の時に市ノ瀬地区において河道閉塞（推定高さ50～60m）が発生し、下流の白峰地区等に甚大な被害をもたらしました。

このような大規模な土砂流出に伴う河道閉塞対策として、赤岩砂防堰堤群（3基）のスリット化改修工事を平成22年度よりすすめています。最下流の赤岩下流砂防堰堤は平成26年に完成しており、平成28年11月には赤岩第2号砂防堰堤が完成しました。

平成29年度からは、最上流の赤岩砂防堰堤の改修工事に着手していく予定です。



工事を担当した

竹腰永井建設(株) 山下 直哉 さん



赤岩第2号砂防堰堤改築工事は、平成23年度より6年の歳月を経て、今回の工事でようやく完成を迎えることとなりました。

自分もこの工事には下積み時代から関わらせていただき、記念すべき完成の時に監理技術者として工事を施工できましたことは、何より光栄であり良い思い出となりました。

施工中はなかなか図面どおりにはいかず、いろいろな出来事があり、大勢の方々にご迷惑をかけ、お力添えをいただいた工事となりました。今となっては関係された皆様への感謝の気持ちで一杯です。

どうもありがとうございました。



白山砂防女性特派員の活動報告



イメージキャラクター
さぼちゃん

白山砂防女性特派員とは…

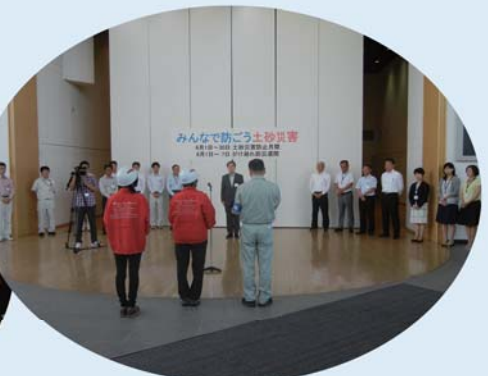
豊かな自然を持っている反面、土砂災害の恐ろしさも有している白山の自然と人命を守る砂防事業の必要性や白山砂防の歴史を学び、その歴史的価値や技術の伝承と手取川流域に住む人々の交流と地域の活性化を女性の目線に立って行っていこうという目的で設立され、今年度（平成28年）で第14期生となっています。

今年はこれまでに6回の活動が行われ、砂防事業の広報支援や技術伝承に役立てるための砂防施設の見学や他団体との意見交換、手取川の源流域調査などの活動を行っています。



土砂災害防止月間広報キャラバン（防災広報活動）

国土交通省では、土砂災害防止と被害軽減を目的として、昭和58年より6月を「土砂災害防止月間」と定めています。今年も石川県が行う「土砂災害防止月間広報キャラバン隊」に参加して、金沢市内での街頭広報活動や手取川流域の各行政機関を訪問し、防災広報の協力を呼びかけました。



土砂災害防止月間広報キャラバン活動の様子



手取川源流域調査及び地すべり対策事業現場見学

手取川源流域の砂防や崩壊状況、白山の厳しい自然について理解を深めるため手取川源流域調査を行いました。

調査後、白山中腹で地すべり対策のために行っている工事を学ぶため、手取川源流である万才谷の排水トンネル工事現場へ行き、現場での作業状況や資材運搬状況などの説明を聞いて、山中の現場で従事される方の苦労や砂防・地すべり対策事業の大切さを学びました。



地すべり対策事業の現場説明を聞く特派員

手取川源流域調査に向かう様子



砂防施設見学（砂防工法や技術伝承を学ぶ）

白山砂防女性特派員では、白山砂防や他地域の特色ある砂防事業について学び、砂防事業への理解を深めています。今年、白山砂防管内では施工中の赤岩第2号砂防堰堤を見学しました。間近に施工中の砂防堰堤を見ながら現場責任者の方からの現場説明を聞いて、出水時の安全対策や砂防堰堤の必要性などを学びました。

また、新潟県の妙高砂防事務所管内では平成15年に登録有形文化財に指定された万内川砂防堰堤群や昭和53年に発生した白田切川土石流災害現場、地すべり資料館などを見学し、土石流と地すべりのしくみや身の安全を守るための方法などを学びました。



施工中の赤岩第2号砂防堰堤を間近で見学



妙高砂防事務所の土石流災害現場や砂防施設の見学



交流（砂防女性サポーターと地域住民）

今年は富山県の「立山砂防女性サロンの会」と砂防に関する知識や防災についての考え方など意見交流を行いました。「立山砂防女性サロンの会」は砂防事業に対し、女性の視点を生かしたサポートを行っていくことを目的として結成された団体で、同じ目的のもと砂防事業の「広報サポーター」として結束力を高めました。

また毎年2月に白峰地区で開催される「白峰雪だるままつり」では、地域との交流を目的として雪だるまの製作・展示を行っています。

雪だるまの展示を通して地域の方だけでなく、観光客の方々へも砂防事業や白山砂防科学館を周知できる重要な活動のひとつです。



「立山砂防女性サロンの会」との意見交流



昨年の雪だるままつりの様子

平成29年度（第15期）白山砂防女性特派員メンバー募集中！

- ・募集時期 1月下旬～2月20日頃まで
- ・募集人数 20名程度
- ・募集条件 石川県在住で20～65歳までの砂防に興味があり、活動へ積極的に参加できる方
- ・任期 1年間（4月～翌年3月）

詳しくは金沢河川国道事務所 流域対策課までお問い合わせください。

また白山砂防女性特派員の活動の様子は白山砂防HP内にて掲載しています。

「白山砂防女性特派員」で検索してくださいね！

白山砂防女性特派員

検索

どしどし
ご応募お待ち
しています！



◆ イベントレポート ◆

白峰地区「手取川上流見学会」



10月6日(木)開催:「手取川上流見学会」に23名が参加。

白山砂防科学館と手取川ダムについて改めて学ぶことを目的として、職員及び白峰地区住民を対象に開催しました。

白山砂防科学館では土石流の模型実験、手取川大洪水の3Dシアターなどを見学、白山砂防について学びました。また、手取川ダムではダムの働きについてDVDを觀賞後、操作室にてダムを管理の様子や水質検査の方法を、またダムえん堤ではロックフィルダムの構造やクレスゲートなどの説明を受け、ダムの役割や細やかな管理の様子に参加者は驚きました。



3Dシアター



土石流模型実験



DVDでダムの働きについて学ぶ



3階の操作室を見学

白山・白峰温泉まつり「百万貫の岩見学ツアー」

11月6日(日)開催:「百万貫の岩見学ツアー」に20名が参加。

白山・白峰温泉まつりにおいて県指定天然記念物である「百万貫の岩」の見学ツアーを企画。

見学ツアーでは、白山砂防科学館で白山砂防の歴史や昭和9年の手取川大洪水の3Dシアター觀賞後、「百万貫の岩」を見学しました。現地まで敷石が整備されて近くまで行くことができるようになり、参加者は手取川大洪水の大きな爪痕である「百万貫の岩」に直接に触れ、自然の脅威を実感しました。



白山砂防について学ぶ



天候に恵まれ、川を渡り直接「百万貫の岩」に触れることができた



◆百万貫の岩◆

昭和9年手取川大洪水に3キロ上流の宮谷から流れ出たとされる岩
高さ16m、重さ129万貫(約4839t)
あると推定される

白峰小学校公開日講演会「昭和9年手取川大洪水を語る」

11月16日(水)開催:講演会「昭和9年手取川大洪水を語る」を白峰小学校の生徒や先生、父兄約60名が聴講。

旧白峰村三ッ谷地区ご出身の林茂さんは手取川大洪水を6歳で体験、胸に深く刻まれた衝撃的な記憶を後世に伝えるべく、自身で描かれた水彩画で紙芝居風に語り、防災への心構えや大切さなどを参加者に伝えました。

「林さんはこのお話の中で何を伝えなかったのでしょうか?」という校長先生の質問に「災害で命を落として欲しくないから」など生徒達からたくさんの意見がありました。

今後、林茂さんの水彩画とお話を1冊にまとめ、手取川大洪水の教訓を多くの人に伝える冊子にする予定です。



手取川大洪水の体験を話す林茂さん



校長先生の質問に答える生徒



白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館は自由に見学する事が出来ます
ご希望に応じ解説も致しますのでご相談下さい
団体見学の場合は前もってご予約下さい
詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい

【問い合わせ先】

白山砂防科学館 入館無料(休館日:毎週木曜日)
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991

◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所流域対策課

〒920-6-8648 金沢市西念4丁目23番5号
TEL 076-264-9913 FAX 076-233-9612
Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp